

CS こひつじ科礼拝式次第

2021年12月26日 午前9時30分

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

53、あさです（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 詩編124編

【都に上る歌。ダビデの詩。】

イスラエルよ、言え。

「主がわたしたちの味方でなかったなら 主がわたしたちの味方でなかったなら

わたしたちに逆らう者が立ったとき

そのとき、わたしたちは生きながら 敵意の炎に呑み込まれていたであろう。

そのとき、大水がわたしたちを押し流し 激流がわたしたちを越えて行ったであろう。

そのとき、わたしたちを越えて行ったであろう 驕り高ぶる大水が。」

主をたたえよ。

主はわたしたちを敵の餌食になさらなかった。

仕掛けられた網から逃れる鳥のように わたしたちの魂は逃げ出した。

網は破られ、わたしたちは逃げ出した。

わたしたちの助けは 天地を造られた主の御名にある。

おはなし 一年の感謝「神様はいつもあなたを 守っています」 若月道子先生

2021年も今週で終わりになります。皆さんにとって今年は、どんな年でしたか？

昨年と同様コロナがまん延して、毎週日曜日に教会に来て教会学校の礼拝や分級も出来ませんでした。学校でも授業や行事に影響があったと思います。自由に遊べなかったり、出かけられなかったりもしたでしょう。誰も想像しなかった1年です。

今日の聖書は詩編124編「主がわたしたちの味方でなかったなら」と私たちに語りかけてきます。もし、主なる神様がわたしたちの味方でなかったなら、最終的に私たちを守って下さる方はいません。もちろん、私たちには、お父さん、お母さん、兄弟姉妹、教会の人たち、友だちもいます。その人たちが私たちを支えてくれたり、助けてくれたりします。

しかし、私たちは一人一人、みな違う環境で違う考えで違う空間を生きていますから、全てをご存知の神様の助けがなければ、苦しみを乗り越えることはできません。神様が最後の砦なのです。

パウロさんは、コリントの信徒への手紙ー 10 章 13 節で「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずです。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練にあわせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。」

神様は、私たちが教会に導いてくださり、私たちが助けようとしてくださっているのです。私たちは、今年一年神様が私たちの味方でいて下さった事に感謝し、来る年もそうである事を信じて歩みましょう。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

58、アーメンハレルヤ (こどもさんびかをお用ください)